



## 1. “大学のチカラ”をテーマにした企画展を開催

### ■ 第7回企画展 『広島大学のチカラ—リサーチ・ユニバーシティの研究最前線』

【期 間】2013年11月2日(土)～11月16日(土)  
 【会 場】東広島キャンパス学生プラザ1F  
 【主 催】広島大学総合博物館  
 【協 力】広島大学学術・社会産学連携室企画室、広島大学学術・社会産学連携室広報グループ、  
 広島大学若手研究者人材養成センター

《入場者数 1,028人》

【目 的】広島大学が文部科学省の「研究大学強化促進事業」の支援対象に選ばれたのを機に企画。大学の研究を展示の形で学内外に紹介しました。  
 【内 容】広島大学の研究を過去・現在・未来に分けてパネルと資料で紹介。講演会やミュージアムカフェ、研究施設見学などのイベントを実施しました。  
 【評 価】実物が少なくパネル展示が中心であったこと、研究がテーマであったことから、やや難しいという声もあつたが、研究者の顔が見えるよい展示という好評価を得ました。中でもDP(Distinguished Professor:特に優れた教授職)についての展示は特に学内からの反響が大きく、法人本部ロビーなどに一部を転用して展示を行いました。また、大学病院でも近日中に展示を行う予定です。



企画展示会場 入口



企画展示会場内の様子



企画展示会場内の様子



公開講演会の様子



ミュージアム・カフェの様子



研究施設見学の様子



←法人本部ロビーでの展示  
 ●来学者へ広島大学の研究を紹介するため、特にDPに関する内容を展示しています。  
 ●学芸員資格取得特定プログラム受講生が、展示の企画に参加しました。

## 2. 新学芸員資格取得特定プログラム

### ■ 博物館実習Ⅰ・Ⅱ

●博物館実習Ⅱ(前期)では、昨年度の博物館実習Ⅰの受講生が、実習を通して学んだスキルを活かして地域の博物館で実習を行いました。また、その成果を持ち帰りプレゼンテーションを行いました。  
 ●博物館実習Ⅰ(後期)へは8名の学生が参加し、大学本部のロビー展示やバードカービングの博物館展示など、実際の展示作業を通してスキルを学びました。



自然史資料の取り扱い



人文系資料の取り扱い



法人本部ロビー展示の検討中



バードカービングの展示作業



バードカービングの展示(作成中)



バードカービングの展示公開記念の講演会の様子



バードカービングの展示(作成中)



バードカービングの展示公開記念の講演会の様子  
 会期中[2014年2月15日(土)～3月28日(金)]、多くの来場者が学生の展示を見に来ました。

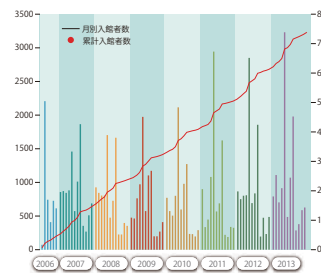
## 3. 来館者数7万人を達成！(2013年11月、企画展・出前博物館の入場者除く)

### ■ 博物館オープン(2006年11月)から7年



7万人目となった女性(前列中央)と同団体の皆さま  
 博物館職員と一緒に。

●2013年11月2日に、7万人目の来館者を迎えました。7万人目は教育学部OBOG(昭和31年入学)の団体でした。  
 ●前回の6万人達成に引き続き、一年を切る期間での7万人達成となりました。  
 [※6万人は2012年11月22日]



## 4. “ミュージアムコンサート” ～博物館と音楽のコラボレーション



第一回 by ヴァイオリニスト (2013年3月)



第二回 by フリュージュル (2014年2月)

●教育学部第4類音楽文化系コースの学生による館内コンサート。  
 ●博物館の新しい魅力を引き出すと同時に、学生の自主的な企画により、貴重な成果発表の機会となりました。  
 ●来場者からも大変好評で、今後も継続して行う予定です。

## 5. 地域・大学・自治体の連携 ～オオサンショウウオの生息地調査



現地観察会、子どもたちも興味津々(自然観察の前の様子)



山水賞牌



地域公民館前で連携団体の関係者と記念撮影

●東広島市や同市自然研究会(市民団体)、広島大学学生グループと連携して調査を2011年より継続して実施。  
 ●2014年9月には、同市の市制40周年に合わせ、日本オオサンショウウオの全国大会を開催します。  
 ●地域の小学校等で特別授業や見学会を実施し、地域の環境教育に大きく貢献し始めています。  
 ●2014年5月に西条山水機構より山水賞を受賞しました。

## TOPICS

### “オリジナルカレンダー” キャンパスまるごとミュージアムシリーズ



オリジナルカレンダー 第7弾  
 ・広報を目的として毎年度作製。来館者に無料配布。  
 ・今年度のテーマは『キャンパス内の遺跡』です。

キャンパス内には遺跡が30箇所以上あります！  
 今年はその一部を紹介しました。



### 『研究報告 第5号』 『HUM-HUM Vol.7(ニューズレター)』発行



●博物館に関わる学術研究の成果を集めた『研究報告第5号』(2013年12月)。  
 ●博物館の一年間の活動をまとめたニューズレター『HUM-HUM vol.7』(2014年6月)。

“ホームページ”が見やすくなりました！  
 ・新着情報やカレンダーなど、利用者が知りたき情報を前面に配置しました。  
 ・利用者の目線がわかりやすく、今後も引き続き改良してゆきます！

## 2014年度企画展『学術模型が拓く研究の最前線—広島大学のチカラ PART2(仮)』

昨年度の企画展『広島大学のチカラ』の第二弾として、広島大学の特徴を活かして、「何か」を具現・再現・複製したもののという点に共通性をもつ“模型”をキーワードに学際的な展示を行う予定です。プラモデルに代表されるように広く社会で親しまれている模型が、研究・教育分野で果たす機能やその可能性を切り口に、広島大学の研究者たちの取り組みを紹介します。

